

日本農芸化学会 2021 年度大会

〔SCIEX 共催〕 ランチョンセミナー

有機化合物の分析に必要不可欠なツール、質量分析装置。

その活用分野は、創薬研究、タンパク質や脂質などの生体成分の研究開発、

食品中の残留農薬試験や機能性成分についての研究など、あらゆるアプリケーションに広がりを見せています。

本セミナーでは、東北大学大学院農学研究科 教授 仲川清隆先生よりSCIEX 独自のイオントラップ QTRAP、またイオンモビリティ機能 SelexION® による分析例を交えてご紹介いただきます。質量分析を活用した先端の研究に触れるまたとない機会です。ぜひご参加ください。



過酸化脂質のLC-MS/MS分析

からだの酸化機構？ アクロレインの新たな生成経路？

東北大学大学院農学研究科
機能分子解析学分野 教授

仲川 清隆 先生

〔講演要旨〕

脂質などの酸化とその影響は、農芸化学領域の研究者の皆様の大きな関心のひとつと思います。脂質の酸化で生じる過酸化脂質（脂質ヒドロペルオキシド）の構造をLC-MS/MSで詳細に解析すると、（1）酸化の機構に加えて、（2）さらなる酸化（二次）生成物の構造を予測できるようになってきました。例えば、（1）ヒトの体は酸化で錆びる？とも揶揄されますが、そもそもどのように酸化される（「ラジカル」or「酵素」で酸化される）のかを調べられます。（2）では、もっぱらリノレン酸の酸化で生じると言われてきたアクロレイン（反応性が高いアルデヒド）が、ある脂肪酸の「光」酸化から生成する経路を見出しつつあります。本シンポジウムでは、こうした過酸化脂質（脂質ヒドロペルオキシド）のLC-MS/MS分析から見えてくる新たな世界を、皆様と共有できると幸いです。

SCIEX テクノロジーについて

SCIEX アドバンスドワークフロースペシャリスト 花田篤志

本研究でご活用いただいている、SCIEX QTRAP, SelexION テクノロジーについてご紹介いたします。

日時 2021年3月19日（金）12:00～12:50

講演番号：2FL（ミーティングルームF）

司会：花田篤志（SCIEX）



株式会社エービー・サイエックス

本社：〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 21F

TEL：0120(318)551 FAX：0120(318)040

大阪：〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-19-3 ビアスタワー 3F

www.sciex.jp Email：jp_sales@sciex.com